

Famille Bulletin

ファミール ブルティン

文化の香るふれあいの街ファミール

平成28年12月1日発行:ファミールハイツ明石自治会広報部

vol.57

祭 チョー(頂)させ!!



秋祭り・西明石まつり部 部長

雨の心配もよそに、10月8日の西明石まつり、10月9日の秋祭り(宮入)を実施しました。西明石まつりは、いつ雨が降ってもおかしくないような空模様でしたが、昼過ぎには、日も差し、子どもたちの元気な掛け声の中で、大人みこし、子どもみこし、華みこし、そして幼児みこし(ファミちゃん)の大所帯が西明石南町商店街中を練り歩きました。

秋祭り(宮入)は、前夜の雨も上がり、みこしに掛けてあったシートを外して準備も整い、林神社まで行進していきました。小さい子どもたちは、ファミちゃんを引っ張って歩いていきました。林神社での神事も終え、けがもなく無事に帰ってきました。

私が、宮入で一番好きな場面は、みこしが階段を登り切り境内に入ってくる瞬間です。緑の木々の間からみこしの屋根がめっとあらわれる瞬間です。特に、和坂のみこしの赤い布団が緑の間から現れたときは、緑と赤の色合いも美しく、その後担ぎ手の力強さを感じとても感動します。太鼓の音には、心がはやります。そして、重いみこしをみんなで担ぐ一体感。また来年も、祭りに参加したいと思います。但し、参加する側で。

最後にご協力いただきました自治会、消防団、子ども会そして管理組合の皆様ありがとうございました。また、指導いただきましたおまつりくらぶの方々および食事のお世話をしていただいた女性の方々には感謝いたします。

秋祭り(宮入)、西明石まつりに興味を持たれた方は、ぜひ来年参加してみたいはいかがでしょうか。

西明石まつり・秋祭り(宮入)

祭り参加状況

		西明石まつり			秋祭り(宮入)			合 計			
		大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計	
壺 番 館	平成28年	38	11	49	49	11	60	87	22	109	
	27	42	16	58	41	13	54	83	29	112	
	26	33	13	46	36	7	43	69	20	89	
式 番 館	平成28年	31	11	42	36	17	53	67	28	95	
	27	29	19	48	27	14	41	65	33	98	
	26	37	21	58	44	22	66	81	43	124	
参 番 館	平成28年	33	14	47	37	7	44	70	21	91	
	27	37	17	54	40	10	50	77	27	104	
	26	36	16	52	37	12	49	73	28	101	
ファミリー 合 計	平成28年	102	36	138	122	35	157	224	71	295	
	27	108	52	160	108	37	145	216	89	305	
	26	106	50	156	117	41	158	223	91	314	
外 部	平成28年	8	2	10	31	0	31	39	2	41	
	27	10	1	11	18	0	18	28	1	29	
	26	13	0	13	18	0	18	31	0	31	
望海中、花岡小		26	11	5	16	0	0	0	11	5	16
総 合 計	平成28年	110	38	148	153	35	188	263	73	336	
	27	118	53	171	136	37	173	254	90	334	
	26	130	55	180	135	41	176	265	91	346	

台風の影響で、気をもませる天候でした。幸い、雨は降らなかったものの、対策には四苦八苦させられました。参加者は左記のとおりですが、西明石まつりの参加者はこのところ年々減っています。最近の社会情勢から土曜勤務やプライベートな予定などが増えているのかと思います。

それに対し秋祭りでは、参加者が増えています。この傾向は、近隣の自治会や各種団体有志の方など外部からの参加者の増加によるものです。林神社の石の鳥居をくぐり、石段を力をあわせて上り切って、みこしを奉納する祭りに意義とよろこびを感じるのでしょうか。境内での昼食やおしゃべりによる親睦の楽しさもファミリーのエネルギー源として欠かせないものかも知れません。特に、何名かのファミリー元居住者の方が、毎年、転居先からかけつけてくれるのは、うれしい限りです。久しぶりに飲み交わすお酒の味は、格別です。今後も若い参加者の増加に期待し、地域の絆を深めながら、日本の伝統文化の継承のためにも頑張りましょう。

祭りを終えて 役員の方々の感想

西明石まつり・秋祭り部 副部長

自治会のイベントとして西明石まつりは27回目の参加、林神社への宮入は25回目を迎えました。20年前には太鼓を叩いてまつりに参加していた息子が今では家庭を持つなど成長し、月日の流れの速さに驚いています。毎年参加してくれている子どもたちもこうしたイベントに参加し、楽しい思い出をつくりファミリーを築立ってほしいと思いました。

我々大人も年々歳を重ねていき体力の衰えも感じながら毎年ファミリーの住民そして地域の方々とのふれ合いを大切に思い、イベントの継続に力を注いでいきたいと思っています。

さて今年の祭りは、おまつりクラブ代表 が当初不参加でしたが、神様のいたすらかご本人の祭りに対する強い思いがあったのか急遽参加していただくこととなり、関係者一同ホッとして祭りを迎えることができました。

今年も例年どおり事故もなく多数の参加者により盛大に執り行われましたことはよかったと思います。特に今年も去年に続き、若い高校生の参加により一層盛り上がり終えることができたことは力強いファミリーをより一層アピールできてよかったと思います。来年の参加も是非お願いしたいものです。

最後になりましたが祭りにご協力いただいた関係者の方をはじめ、近隣の自治会の方々に心より感謝いたします。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

心配された天候にも恵まれ、無事に終わることができました。

私は15年程前、夫がまつり部担当の折、小学生だった娘との宮入参加以来でしたので全くの初心者同然で、準備が始まった6月頃はお役に立てるのか心配でした。

しかしおまつりくらぶやまつり部の皆さんの温かいお人柄に助けられ、役員の皆さん、有志の方々のご協力のお陰で、とても充実した2日間となり、まさに『案ずるより産むが易し』となりました。

当日の子どもたちの可愛い姿に、いつかまだ見ぬ孫に法被を着せ参加するという、ささやかな夢もできました。手入れを続けてこられたおみこしは、今年は美しい欄間が取り付けられました。まだ参加したことがない方も、来年こそはその勇姿をご覧に来られてはいかがでしょうか。

総務部 副部長

お天気が危ぶまれた中、今年も無事お祭りを終わることができました。ご尽力いただいた方々に、まずはお礼を申し上げたいと思います。

私は、今年は自治会役員という立場で参加させていただきましたが、例年はお祭りから帰ってこられる皆様を迎えるためのお料理作りのお手伝いをしています。

お料理の準備は、おまつりくらぶの 副代表指揮のもと材料の買い出しから始まります。少しでも安くよいものを求め、スーパーを4、5件はしごします。そして西明石まつり当日は総勢20名以上が自宅でご飯を炊き、西明石駅南広場で食べるおにぎりをみんなで作成します。その数350個以上ですが、みなさん手慣れたもので、年々作成スピードが速くなっていきます。自画自賛ですが、肌寒い中で食べた温かいおにぎりがとてもおいしかったです。また帰着後には熱々のカレーライスを用意しています。宮入の際には打上用にオードブル、おにぎり、関東煮です。今年度の打上の参加者は150名近くと当初予定を上回る盛況ぶり、一人あたりが少なくなってしまうかも知れません。

今年参加された方はもちろん、参加されなかった方も、来年もぜひともお祭り・打上にご参加ください。お料理をたくさん用意してお待ちしています。



子ども会から

子ども会 秋祭り担当

「F.O.J.ファミリーお祭りジュニア!」の掛け声から、太鼓の練習が始まります。講師は、20年近くファミリーの子どもたちに太鼓を教えてくださっている、おまつりクラブ さんです。今年も8月末から週2回のペースで、計8回開催しました。叩き手は大人みこしの乗り降りもあるので4年生以上が対象ですが、今年から練習には低学年も中高生OBも参加OKに変更し、14名が参加しました。それは、6年生が卒業しても叩き手OBとして祭りに参加してほしい、年々子ども的人数が減っている中、学年が上がるにつれて習い事等で忙しくなる子どもたちも高学年では叩き手としてみこしに乗ってほしい、という木下さんの思いからです。「子どもたちがいないおみこしなんて、有り得ない。子どもたちは神輿の主役や。」と最初にお話を聞いた時、太鼓の練習は大事な役目だと思いました。

ファミリーには立派な和太鼓が3張あり、その音はとてもお腹に響きます。みんなのお囃子と太鼓の音が揃うまで、最初の掛け声から何度も繰り返し練習します。声を大きく出しても、みんなが心をつにしないとなかなか音が揃わないので、子どもたちも必死です。遊ぶ時間もほしいので、最後まであきらめず皆真剣に取り組んでいました。念入りに練習するのは、激しく揺れるみこしでも緊張せず仲間と楽しんで叩くことによって、ケガや事故の防止に繋がるからです。手にまめも作らず長時間叩ける子どもたちには、大人は敵いません。また、今年からおまつりクラブ さんが、叩き手の子どもたちにヘッドマイクを導入してくださり、お祭り当日みんなのテンションも上がりました。

皆様のお陰で無事に、子どもたちも楽しい秋祭りを過ごすことができました。お世話になった皆様方に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

参加した子どもから

花園小 3年

西明石まつりと宮入にさんかしました。妹の運動会があったのでファミリーに帰って来たら、はっぴをきている人、おみこしのまわりにいる人がみんなたのしそうで、私と妹もお母さんにいそいそではっぴを着せてもらいました。私はファミちゃんを引きました。「よいーいやさー」と小さな子たちの大きな声だけしか聞こえませんでした。とてもかわいかったです。どんどん歩いて広ばできゅうけいしました。

広ばで食べたおにぎりは、みんなで食べたのでおいしかったです。きゅうけいがおわって、私と友だちは、しでを持たせてもらって歩きました。しでを持って歩いたら楽しくなってきた、「ちょうさせー」と声をだして歩きました。つかれたけど楽しかったです。ファミリーについてお楽しみのカレーを食べました。からかったけど、おかわりしました。友だちとわいわいしながら食べたので、すごく楽しかったです。

次の日は宮入でした。楽しみにしていました。しゅっぱつの時は、とてもさむかったです。林じんじゃまで歩くきりが長くておかあさんと手をつないで歩きました。林じんじゃにつくころには、あつくなってきました。

おべんとうをたべて、おなかいっぱいになっておみこしがあがるまで、いっぱい友だちや小さい子たちとあそびました。木のえだやおちばをつかって家作りをしたのが楽しかったです。かいだんでは、おみこしをひっぱりました。おみこしがじんじゃにあかってくるすがたがとてもかっこよかったです。帰りもとちゅうまでは、おかあさんといっしょに歩きました。半分くらいからは、友だちとわらいながらファミちゃんをおして帰りました。たくさんあるいてつかれたけど楽しかったです。来年は、たいこにちょうせんしたいです。

花園小 4年

今年のお祭りで僕は、太このたたき手になってサー天高の時に、おしりがういたりしておもしろかったです。来年は、今年よりもっと上手になってたたきたいです。後、ぼくは、今年林神社のかいだんでみこしに乗れなかったの、来年はかいだんの時も、できたらいいと思います。

最後に僕が思ったことは、今年はみんな無理をしてそうだったけど、すごく楽しかったです。

花園小 5年

ぼくの西明石まつりと宮入の思い出は2つあります。

1つ目は、初めてみこしをかついだことです。みこしは、思っていたより重くて、汗をいっぱいかきました。

2つ目はたいこでみこしに上がったことです。おはやしの時が楽しくて、特に「チョーサッセ」の時は楽しかったです。

この2日間、良い経験になりました。来年もたいこをたたいたり、かついだりしたいです。

参加された地域の方から

サバービアシティ21 自治会副会長

ファミリーハイツ秋祭り宮入神事に参加させていただきありがとうございました。

大人の方も子どもたちも朝から夕方まで本当に秋祭りを楽しんでいる様子を見させていただき大変参考になりました。(少々疲れましたが、とても楽しかったです。)

大人の方々の気合いの入った掛け声の中に、無事故で楽しく終えたいという強い思いと優しさを感じられました。子どもたちがみこしに乗っている時の嬉しそうな笑顔がとても微笑ましく印象的でした。小さい時からこういう世代を超えた繋がりがあれば「物怖じしない真っすぐな大人へと成長する」大切な要因であるのではないかと感じました。

また、おいしい昼食いただき、そして随所に女性スタッフからの気配りを頂戴して本当に嬉しかったです。感謝申し上げます。表舞台で活躍する機会の少ない女性役員の皆さまには会長さまからくれぐれも十分に労をねぎらっていただきたいと思う私からのお願いです。



ファミリー子ども記者レポート

ファミリーの子どもたちにファミリーでの出来事や自治会イベントについて取材し、記事を書いてもらおうと企画しました。

自治会拡大役員会で全員賛成を得て、子ども会の協力のもと、子ども会会員から募集し、4年生の、3年生の、

さん 5名の子ども記者の応募がありました。

今回は、祭りをテーマに普段から疑問に思っていることを挙げてもらいました。この質問に答えてもらう解答者として、ファミリーの部分は自治会会長代理、林神社や和坂については、和坂校区の自治会長さんをお願いしました。

子ども記者取材

1 みこし本体について

①おまつりが始まったのはいつ？おみこし作りは？

ファミリーは平成元年に町番館ができました。平成2年に式番館、平成3年に参番館ができました。平成元年の夏、西明石まつりに参加するよう、誘われました。平成2年におみこしを作って、初めて参加しました。更に大きなみこしを作って平成4年から林神社に宮入を始めました。この大きなみこしが大人みこしで、最初に作ったのを子どもみこしにしました。



②飾りはどうやって作ったの？

デザインはだれが考えたの？

最初に作ったみこし（現在の子どもみこし）は、平成元年に二見から入居したさん（元住人、転居）が考えました。次に作ったのは、さんとさんが考えました。設計はさん、こまかい製作はさんが主になってやりました。屋根はベニヤ板で作り、電話帳を何枚も重ねて貼り、屋根のカーブを出しました。世界にひとつしかないおみこしです。



③重量は？

大人みこしが最初出来上がった時は、約800kgだったそうです。だんだん本物の素材を使って改良し、1,100kgくらいになったそうです。人が乗ると約1,250kgになります。45人以上いないと持ち上げられないそうです。今年は50人くらいでかつぎました。これだけ人がいると、かつぎ棒が長くないとかつげません。子どもみこしは、200～300kgぐらい。華みこしは、150kgぐらい。和坂は、2,500kgだそうです。



④大人みこし、子どもみこし、

華みこしと名前をつけたのはなぜ？

最初は大人みこし1基でした。もっと大きいものを作ろうと今の大人みこしを作りました。前の大人みこしは、今の子どもみこしとなりました。

大人みこしは、大人がかつぎ、子どもみこしは子どもがかつぎ。華みこしは女性がかつぎ。小さい子どものためにファミちゃんを作りました。以前、ランボルギーニという名前だったそうです。華みこしは、ギャルみこしという名前だったそうです。



⑤ファミちゃんを作ったのはなぜ？

幼児も何か引っ張りたいたかなと思って、ファミちゃんを作りました。ファミちゃんには、救急箱を入れているので運搬車とも言っています。



2 みこしの巡行について

①みこしはなぜかつくの？

人や物をかついで移動する道具を「こし」といいます。神様を移動するのに使ったのが「おみこし」です。神様の魂をみんなに伝えるためかつぎ、神様の力をみんなに分け与えたのだそうです。

②ヨイヤサーと言うのはなぜ？

ヨイヤサーはリズムを合わすかけ声。地方によってかけ声が違います。ワッショイというところもあります。また、気分を盛り上げるためにも言います。

③おはやしはだれが作ったの？

おはやしは万波さんが作りました。おはやしがあること自体が自慢で、この近辺ではファミリーだけ。大きくなってから、小さかった頃の祭りを思い出し、帰って来てほしいという願いもあります。

④華みこしはなぜたいこをたたかないの？

華みこしはたいこをたたくことを想定していません。だから高欄がありません。大阪にギャルみこしがありますが、同じように太鼓をたたきません。

⑤シデは何のためのもの？

シデを上げることで気分を高めます。また、邪気（悪魔）を払い退けることでも使います。

3 林神社の祭りについて

①和坂のみこしが林神社へ行くのはなぜ？

祭りの日が秋に決まった理由は？

林神社は大変古い神社で昔は林崎村の神社でした。周りは林だったそうです。昔は農業が盛んで、秋にはお米がで、刈り入れをしてホッと一息ついたところでした。10月15日は豊作の日でした。神様を信じる人が大勢いて、神様に豊作の感謝の気持ちでお礼に行ったのだそうです。そして、町がどんどん発展したそうです。昔は、祭りの日は、学校は早帰りだったそうです。

②みこしが神社へ入る順番は？

和坂の太鼓が最初です。林神社には、農業の神様と漁業の神様が祭られています。秋には、お米を作っている和坂の人がお礼に行ったのが始まり。和坂が一番最初に入ります。昔は、太鼓（みこし）が7つくらいあったのですが、今は和坂1基です。それにファミリーが加わりました。

③みこしが階段を上がり、神殿を3周するのはなぜ？

神様や神社にとって3という数字は縁起がいいのです。だから使うのです。

みこしは神殿を3周しますが、1周する間に3回練り上げます。全部で9回練り上げます。

④和坂のみこしはカニのデザインで、ファミリーはなぜ龍なの？

昔、和坂の北に大きな山があって、周りは林でした。山には、悪いカニが沢山いて、住民に悪さをしました。弘法大師という偉い坊さんが山に登って、カニを退治しました。退治したカニを葬ったカニ塚があったのですが、今はありません。和坂には、カニについての言い伝えが沢山あります。「カニが坂」とも言われています。それで、カニをデザインしました。

（これから 会長）

龍は伝説の生き物です。中国では、龍は強くてパワーを持っていて威勢がよく、縁起の良い動物で、みんなを幸せにするとされています。ファミリーでは、大人も子どももみんなが元気で幸せに過ごせるよう龍のデザインを採用しました。

⑤和坂とファミリーでは、太鼓のリズムが違うのはなぜ？

太鼓の叩き方は、地域によってそれぞれ違います。それは、遠くからでも、どこの太鼓（みこし）が来たのか叩き方で分かるようにするためです。和坂では、江戸時代から叩くリズムは変えていません。自分の町内を回っているときと町から出た場合とは、叩き方を変えています。音色だけでなく、叩き方でも自分たちの太鼓（みこし）がどこにいるのか知らせているのです。



あしがき

会長

駅での切符の購入、銀行での入出金、その他なんでもみんな機械の時代になり、日常生活で人と会話することが少なくなっています。人と顔をあわせて話をすることは、話し方や表現力、相手の気持ちを理解する能力などの向上につながる大切なことです。また、日ごろの暮らし方やマナーなどに関心を持ち、全体的によい影響が生まれることにつなげたいと思います。

子ども記者の保護者

親子ともに貴重な体験ができたと思います。子どもたちも真剣にお話を聞いていました。さん、さんが子どもたちに分かりやすくお話してくださったことに感謝しています。子ども自身、まとめるのも全部自分でやりたいと言い、自分なりに一生懸命まとめていました。文章、書き方など見て分かりにくいところがあるかも知れませんが。

知らなかったファミールの歴史を知ることでもできました。参加させていただき、ありがとうございました。

自治会からのお知らせ

クリスマスイベント

日時:12月11日(日)

スケジュール:

10:30~15:00	事務所前広場	野菜市、花市、特産品販売 焼き芋、焼きアナゴ、にぎり天販売 その他いろいろおいしいものがある予定。 ぜひ、お出掛けください。	養父「蔵人の会」による 明石中央卸売市場直送
16:00~16:30	集会室	クリスマスコンサート	望海中学吹奏楽部
16:45~	タンポポ広場	カウントダウン、点灯	

紹介

ファミッコくらぶ

ファミッコくらぶ 代表

新学期が始まり、近くの幼稚園や小学校のように、運動会をしました。

「よーいどん」や「ラムネ食い競争」などをして楽しみました。10月最後の活動では、管理事務所の皆さんに協力していただき、ハロウィンの行事をしました。

ファミッコくらぶは、月に2回季節の行事を通して親子で楽しい時間を過ごすサークルです。



12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 おまつりくらぶ 忘年会
4	5	6	7	8	9	10
「ゆずります」 「ゆずって下さい」 掲示						
子ども会廃品回収	粗大ごみ申込締切		資源ゴミ			
11	12	13	14	15	16	17 花園学童クリスマス会 防犯パトロール① 粗大ゴミ
X'masイベント			不燃ゴミ			
18	19	20 小型家電回収 天ぷら油回収 9:30～11:00 サンライフにて	21 シニアクラブ昼食会 防犯パトロール② 資源ゴミ	22 終業式 花園幼稚園 花園小学校 望海中学校	23	24
子ども会廃品回収						
25	26	27	28	29	30	31 ニューイヤー ライトアップ開始
「ゆずります」 「ゆずって下さい」 申込受付						
X'masライトアップ終了 防犯パトロール③		ふれあいサロン	不燃ゴミ			

1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
「ゆずります」 「ゆずって下さい」 掲示						
管理事務所 年末年始休み			防犯パトロール④ 資源ゴミ	ニューイヤー ライトアップ終了		防犯パトロール⑤
8	9	10 始業式 花園幼稚園 花園小学校 望海中学校	11 不燃ゴミ	12	13	14
子ども会廃品回収	防犯パトロール(予備日) 粗大ごみ申込締切					
15	16	17 小型家電回収 天ぷら油回収 9:30～11:00 サンライフにて	18 シニアクラブ昼食会 資源ゴミ	19	20	21 粗大ゴミ
22	23	24	25	26	27	28
「ゆずります」 「ゆずって下さい」 申込受付						
子ども会廃品回収		ふれあいサロン	不燃ゴミ			
29	30	31				

12/23～1/9 冬休み期間中、子どもたちへの気配りをお願いします。

不要になった本誌は燃やせるゴミではなく子ども会の廃品回収に雑誌として出してください。

ファミリーハイツホームページ <http://www.famille.akashi.hyogo.jp/>